

# HKFA Technical Report 2019

## 北海道トレセンU-13・U14キャンプ前期

日時

2019年4月27日(土)  
～4月29日(月)

会場 札幌市東雁来公園  
人工芝東西サッカー場

HKFA

・ナショナルトレセンコーチ  
・U-スタディレクター

・U-13コーチ

・U-14コーチ

・GKコーチU-13

・GKコーチU-14

・トレーナー

・全体統括

HKFA

山橋 貴史  
北原 次郎  
鈴木 貴浩  
阿部 勝弘  
田中 拓也  
林山 信吾  
白崎 健策  
青山 剛  
菊池 豪  
増井 悠太  
保谷 達郎  
枝村 昭  
小川原周太  
崔 準基  
寺島 徹  
池内 友彦  
斎藤 正倫  
佐藤誠一郎  
山根 裕司  
中野 裕治  
小島 伸介  
山本 泰雄  
宮本 英樹

### U13総括

31名の選手でスタートした今年度の前期キャンプは、守備のトレーニングから始めました。チームで意図的にボールを奪えるようになるために1stDFが粘り強くボールを奪い、いくところから積み上げ、「チーム全員でボールを奪うためにコミュニケーションを取りながら動き続ける」ことができるようになるようトレーニングを行いました。2日目と3日目は初日に積み上げた守備を大事にししながら、攻撃のトレーニングである「ポゼッション」「崩し」「フィニッシュ」のトレーニングを行いました。強固な守備の中でそれらのプレーをどう捉え、高めていくかをそれぞれのトレーニングや夜のレクチャー・ミーティングを通じて共有しました。

今回のキャンプを実施するにあたって、保護者の皆様をはじめ所属チームの皆様には連休中の慌ただしい中にも関わらず、選手を派遣していただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

### U14総括

U14の参加選手は31名でした。初日はNTCコーチが守備をテーマにTr.を行いました。選手たちは守備の目的であるボールを奪うこととゴールを奪われないことを意識していました。そのためにボール状況でポジションをとりながら、全体としてのバランスを崩さないよう常に判断しつつプレーしていました。二日目は地域スタッフの指導のもと、ポゼッションと崩しをテーマにトレーニングを行いました。ポゼッションのトレーニングではボール保持者の持ち方を観ながら、offの選手が複数のパスコースをタイミングよく作りながらボールを失わないようにプレーしていました。崩しのトレーニングでは、安定したポゼッションの中で、ボール保持者の前向きの状況を見ながら、OFFがタイミングよくアクションを起こし、相手のディフェンスを突破しシュートまで行く場面を多く作りました。課題は、攻守のONとOFFの個人戦術理解の更なる深化であると思います。今回の合宿に選手を快く派遣していただきましたチーム指導者の皆様、保護者の皆様には大変感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

### GK総括

今回のトレーニングでは、限られた時間の中で「シュートストップ」「クロス」「ブレイクアウェイ」をテーマとして行い、全体練習に合流しました。

メニューを発展させる中で、「いつ・どこで・何を観るか」「どんな予測を持ち、どう準備するか」の質を向上させ、よりゲームに近い状況の中でテクニックを安定して発揮することを目指しました。また、守備から攻撃への切り替えを意識させるため、どのトレーニングでも「キャッチしたボールを正確に返球すること」を選手に要求しました。U-13では、シンプルな状況下では技術を発揮できるものの、メニューが発展し、観るものが増えるにつれて構えの遅れやポジションのずれが生じ、安定した技術を発揮できないという課題が見られました。選手たちは、GKコーチやFPコーチからのアドバイスを聞き、より良いプレーを目指してチャレンジしていました。U-14では、それぞれのGKに良さがあり、トレーニングやゲームにおいてその良さが発揮される場面が多くありました。ただし、課題もそれぞれにあり、特にプレーする前の準備(状況を観る、姿勢、立ち位置)とプレーした後に関わり続ける部分に改善すべき点が多くありました。

